

団体概要書

(その1)

団体名	特定非営利活動法人キャズ	団体の種別 ※いずれかの□にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> (認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) ささおか たかし 運営委員長 笹岡 敬		
主たる事務所の所在地	大阪府大阪市城東区諏訪1丁目2番25号		
設立年月	2001年 7月	構成員数	13名
事業年度	1月 1日 から 12月 31日		
団体の活動目的	この法人は、アーティスト・企画者・鑑賞者や愛好家など様々な人々が自由な立場でアートの実場に参画する機会を作り、もってアート本来の力を取り戻し広く社会貢献することを目的とする。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 4.美術		
主な活動内容	主にキュレーターの企画による展覧会を開催し、展覧会と共に開催するオープニングレセプション、アーティストトーク等に様々な人々が参加する事によりその三者が接し、話し合い、関わり合う場を設ける。また、展覧会リーフレットを作成、アーティストトークのストリーミングなどを行うことでアーカイブとして保存する。		
これまでの主な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 ●パイロットプラント展「Corona あるいは王冠として。」 2021年1月23日(土)～2月6日(土) 参加作家 25名(組) アーティストトーク:2月6日(土) ●ニジジマ・アツシ 展 2021年5月8日(土)～5月29日(土) キュレーション:笹岡 敬(アーティスト) アーティストトーク:5月29日(土) ●稲垣智子 展「ホワイトアウト」 協力:アーティストの冬眠@信州 2021年11月13日(土)～11月27日(土) キュレーション:中西美穂(文化研究者) アーティストトーク:11月27日(土) アーティストトークのアーカイブ https://www.youtube.com/c/CASnpo/videos		
ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> (URL http://cas.or.jp/) / <input type="checkbox"/> 無		
機関紙	<input type="checkbox"/> 有 (機関紙名) / <input checked="" type="checkbox"/> 無		

「活動分野」 大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>第一に経済的な問題が大きいと言わざるを得ません。キャズでの展覧会の開催において、アーティスト、キュレーター、場の維持など多くが関係者の手弁当です。キュレーターの方々は、キャズならではの展覧会の企画として、大阪近郊のみならず、名古屋、東京、その他の地域で活躍するアーティストを紹介する展覧会を企画して下さい。そして、キャズで展覧会を開催することに価値を見出し、大阪まで来て頂いています。しかし、それらが当時者の負担になっていることも否定できません。少しでも、その負担を軽減するような方策を立てねばならない状態です。</p>
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>キャズで開催される展覧会の幾つかは大阪や関西以外の地域で活動するアーティストの展覧会です。また、国内のみならず韓国やドイツ在住のアーティストの展覧会を開催しています。それらの展覧会やアーティストトーク、シンポジウムなどで、様々な地域のアーティストが何を考え制作をしているのか観て頂き、話を聞いて頂き、語り合ってくださいと思っています。しかし、それだけでは無く、彼らには大阪や関西のアーティスト、キュレーターの方々と接することで大阪や関西の情報をそれぞれの地域に持って帰って頂きたいとも思っています。そのことで、大阪のみならず関西のアーティストの活躍の場が広がれば良いと思っています。それには、キャズの展覧会を多くの方々に観て頂き、継続していくことが大切であると思っています。</p>
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>キャズが開催する展覧会は「現代美術(コンテンポラリーアート)」と呼ばれる分野です。そこで開かれる展覧会には「今、さっきまで、アーティストが制作していた作品」が展示されます。「現代美術」の作品は難解であると思われる方が多いのは事実です。また、そういう作品が多いのも事実かもしれません。しかし、「今、さっきまで」制作されていた作品に私達が初めて接するのは当たり前です。小さな子どもが接するものが最初は何なのか分からないのと同じで、私達も初めて接する作品が分からないのは当然だと言えます。そこで私達はアーティストやキュレーターと直に関わり合う場を用意することで解決の手助けになればと考えています。様々な作品を観て、考えて頂き、語り合うことで多くの方々の人生の楽しみや糧になればと願っています。</p>